

3. 水道の危機管理対策(自然災害・水質事故・テロ等)検討業務

概要

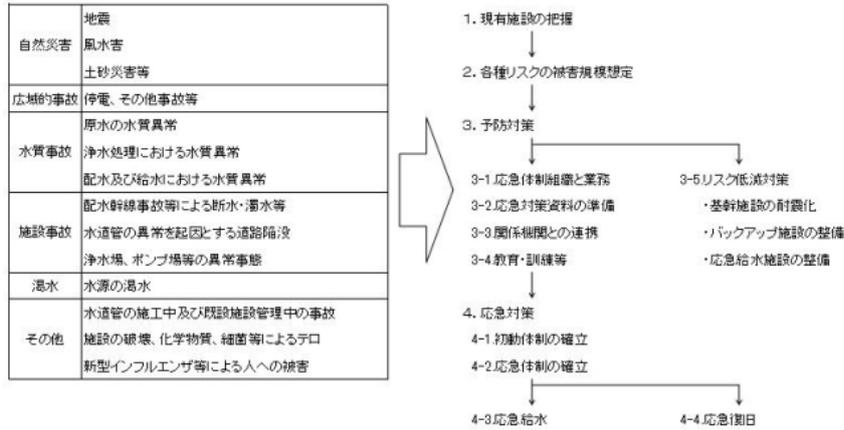
水道事業には、地震・濁水などの自然災害や、水質事故、テロ・停電等の非常事態においても、生命や生活のための水の確保が求められます。このため、基幹的な水道施設の安全性の確保や重要施設等への給水の確保、さらに、被災した場合でも速やかに復旧できる体制の確保等が必要となります。

これらに対応するため、既存水道システムの全施設及び組織全体を把握し、水道の危機管理対策を策定することは水道事業者にとって極めて重要な課題となっております。

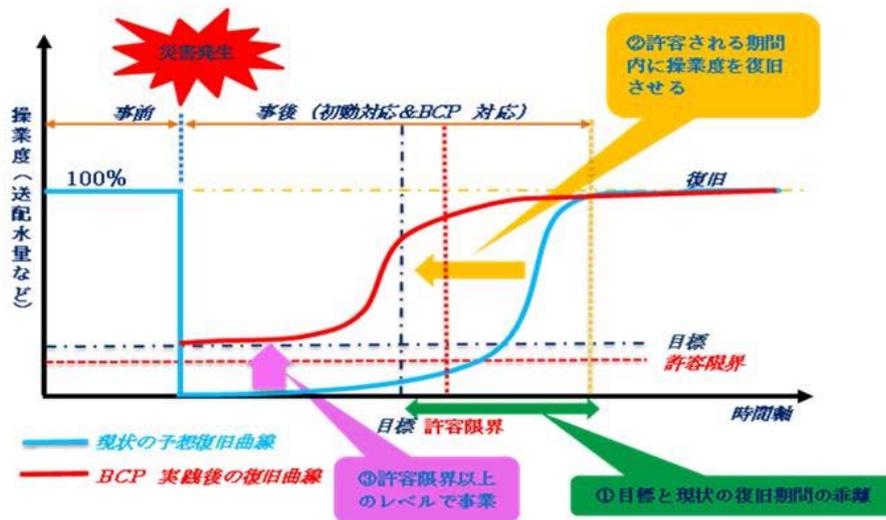
業務実施のメリットや効果

- ① 被害想定による効率的なリスク低減対策
- ② 事業継続計画(BCPマニュアル)の策定
- ③ 被災時の速やかな初動体制の確立

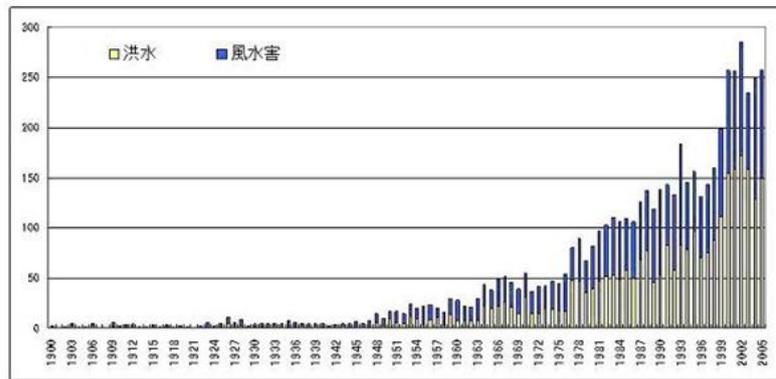
【危機管理対策の業務フロー】



【事業継続計画(BCP)の概念】



本業務では、自然災害・各種事故・テロ等に対し、事業継続計画の整備及びリスク低減対策の両面から総合的な危機管理対策を検討し、被災時の被害規模を最小化するための提案をいたします。



■ 20世紀以降の災害に区分される洪水と風水害の発生件数 出所:CREC